

民進党千葉県第10区総支部  
〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2  
TEL0478-54-5678 FAX0478-52-6991  
Mail:info@hajime-yatagawa.com



元衆議院議員 谷田川 はじめ

【谷田川はじめプロフィール】

- 1963年 1月17日香取市に生まれる
- 1981年 千葉県立佐原高校卒業
- 1985年 早稲田大学政治経済学部卒業
- 同年 丸紅(株)入社
- 1988年 (財)松下政経塾入塾  
在塾中、米国連邦下院議員政策  
スタッフとして活動
- 1991年 衆議院議員山村新治郎秘書
- 1993年 千葉県議会議員初当選  
以後4期連続当選
- 2009年 衆議院議員初当選  
拉致問題特別委員会理事  
国土交通委員会委員  
民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
- 2012年 再選を目指したものの惜敗
- 2014年 返り咲きを目指すもわずか10票で比例区  
当選に届かず
- 【現在】 民進党千葉県第10区総支部長  
千葉県ハンドボール協会会長

## 閉会中審査で萩生田官房副長官と前川前次官の 証人喚問実現を！

6月16日に行われた参院予算委員会で、「総理のご意向」「官邸の最高レベル」と書かれた文書は見つからず、内閣府の担当者も「発言していない」「聞いた記憶はない」と山本国家戦略特区担当大臣が答弁しました。しかし、これは前日の松野文科大臣の説明と大きく食い違っています。

加計学園の国家戦略特区への獣医学部新設をめぐる問題は、疑惑が解消するどころか益々深まっています。

国会は6月18日に閉会しましたが、この問題の幕引きは許されません。私ども民進党は、真相究明のためにも、閉会中審査を行い、萩生田官房副長官と前川前文科次官の証人喚問を要求しています。その実現のために皆様の後押しを宜しくお願い致します。

裏面には、わが党調査チームが入手した「藤原内閣府審議官との打ち合わせ概要」と称する文書を解説付きで掲載しました。是非一読下さい。官邸圧力の実態が明らかになっています。



# 「これは官邸の最高レベルが言っていること」

## 加計学園問題

全文を読めば伝わってくる生々しい「官邸圧力」の実態!

必読!

藤原内閣府審議官との打合せ概要（獣医学部新設）

※取扱注意

1. 日時：平成28年9月26日（月）18：30～18：55
2. 対応者：（内閣府）藤原審議官、佐藤参事官、（文科省）浅野専門教育課長、■■■■補佐
3. 概要：
  - 平成30年4月開学を大前提に、逆算して最短のスケジュールを作成し、共有いただきたい。成田市ほど時間はかけられない。これは官邸の最高レベルが言っていること（むしろもっと激しいことを言っている）。山本大臣も「きちんとやりたい」と言っている。
  - 成田市の医学部新設の際には3省方針を作成したが、これは東北新設時に復興庁と方針を作成していたため、同じ形でやることとなったもの。内閣府としては方針作成が必要だと考えていないが、文科省として審査する際の留意点を出す必要があることは理解。
  - クレジットは、内閣府と直接の規制省庁である文科省がマスト。関係省庁が入らないとできないわけでもなく、農水省・厚労省を入りたいのなら、文科省が動く必要あり。ドライに、両省が協力しないなら「彼らがやらなかった」と責任を負う形に持って行けばよい。いずれにしても第2回分科会で方針原案を決めるスピードでやる必要。
  - （今治市構想について、獣医師会から文科省・農水省に再興戦略を満たしていないと指摘する資料が届いており、簡単ではない旨の指摘に対し、）必要であれば分科会に獣医師会を呼ぶ。成田市分科会に医師会を呼んでいないが、文科省と厚労省で選んだ有識者の意見を聴取した。反対派は呼んでいないが。有識者を呼ぶ回を作った方がよければやる。
  - 「できない」という選択肢はなく、事務的にやることを早くやらないと責任を取ることになる。早く政治トップの判断に持って行く必要あり。文科省メインで動かないといけなシチュエーションにすでになっている。
  - （他の新設提案者はどうするのか、との問に対し、）成田市の際には、3省方針に「1校」と記載。諮問会議としては3省が決めたことなど知ったことではないが、方針を出さないで省として持たないということで作った。裏では政治的なやりとりがあった。
  - 3省方針ではなく、「民泊」（9月9日諮問会議資料2-2）のように、留意点や手当てを記載した1枚程度の方針を諮問会議として出すことも可能。ただ、当該会議の場には厚労大臣も出席して決定している。この方法は総理や山本大臣の負担になるが、こちらの方が手続きは簡単。要素さえもらえれば、内閣府はすぐこの資料を作る。今週末週でペーパーワークしないといけない。
  - 今週とかその後の世界で早めに上に相談してくれ。

連日報道されている前文科省事務次官の前川喜平氏が公表した「藤原内閣府審議官との打ち合わせ概要（獣医学部新設）」という「※取扱注意」と明示された資料を精読すると、いかに官邸の圧力が各省庁にかかっているかが手によるようにわかる。表現や語尾から強引さが伝わってくる。

### 官邸からの強力な圧力

官邸の最高レベルの言っていることについて、かつこ付で「むしろもっと激しいことを言っている」とさらに圧力を強化。

### 他省へ押し付けも指示

農水・厚労両省が協力しなければ、彼らがやらなかったと、ドライに「責任を負う形にもって行けばよい」と指示。

### 反対派の排除も明言

獣医師会から「再興戦略は満たしていない旨の指摘資料」が届いているが、文科省・厚労省が選んだ有識者意見聴取には「反対派は呼んでいない」と明言。

### 責任論を持出した脅し

「できない」という選択肢はなく、早くやらないと「責任を取ることになる」と最後通牒を突き付ける。

### 前文科事務次官の証人喚問を!

「責任論」までちらつかせながら政治的圧力をかけられたら、官僚組織は反対することができない。安倍総理の友人を優先して許認可の圧力がかけられてきたのであれば、「政府の私物化」以外何物でもない。

結局、日本政府は旧態依然とした「利権政府」に逆戻りしてしまったのか。

さらに真実を明らかにするため、前川喜平・前文科省事務次官の証人喚問を要求します。